

# 「都構想」はバラ色、一維新が宣伝

ところが

## よく見てみると

# 真逆の話ばかりです

「市役所は、医療・福祉・教育が本来の役割」(維新の会)

いいえ

やろうとしていることは  
くらし切り捨て、  
カジノ、リニア

「市役所は身近なこと。医療、福祉・教育をやること。徹底するのが本来の市役所」と維新も認めています。ところが、実際に維新がやっていることは「他都市以上の市民サービスは他都市並に」「自分のことは自分で」と切り捨て。市民から困惑の声があがっています。

しかも、維新は「都構想」で市民サービスを切り捨てて作った財源をカジノや関空リニア、なにわ筋線等のムダな大型開発に集中すると言っています。



1分短縮に  
400億円も  
かかる!

「全ては次世代のために」  
(維新の会)

いいえ

やっていることは  
全世代への  
負担としわ寄せ

「全ては、次世代のために」と「維新の会」。ところが、実際に維新の会がやっていることは、子どもからお年寄りまで、全ての世代への負担増と犠牲の押しつけです。

大阪市の市民向け施策切り捨ての一例

- 黒字なのに国民健康保険料を連続して値上げ
- 「維持します」と公約していた敬老パスを有料化
- 若者支援のための新婚世帯の家賃補助制度の新規募集を停止
- 「年間5億円浮く」と言って住吉市民病院を廃止
- 地域生活支援事業や老人憩いの家事業削減
- 市バスを減便、赤バスを廃止

「大阪都にすると、18年間で  
2,917億円の黒字」(維新の会)

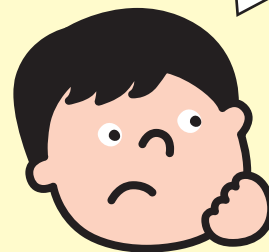
いいえ

正しく試算すると  
数百億円のマイナス

「維新の会」は“大阪都にすれば、18年間で2,917億円も黒字”と宣伝。ところが、「都構想」と関係のないものを外して計算すれば逆にマイナスになります。経費が1,158億円もかかるためです。

大阪市のまま改革したら再編のための経費が要らないため、彼らの計算によっても「プラス」になります。

エッ何、それ!



維新は「多額の税金を入れている総合医療センターの患者の4割は市外。患者の市町村から分担金とったらよい。大阪市立大学の学生も73%は市外」などと演説…、市立つぶしなら何でもあり?! あ然です。

既に大阪市は天王寺動物園の子ども無料制度は市外の子どもの対象外にしました。維新のタウンミーティングでも批判の声が出ています。

「都構想」をやめ、  
市民本位の市政にすれば、  
大阪市を良くすることができます

大阪市には様々な人が住み、多くの才能ある人や優れた企業・大学があります。新しい商品の開発や文化も創り出されています。

この市民・企業の力と、政令市の大きな権限・財源をまるごと市民のために使えば、“住み心地よき大阪”をつくることができます。